

株式会社三勇テクノス



きのした なおき  
木下 直樹

総務部 総務課 係長 [2021年入社]

「伝える」ではなく  
「伝わったかどうか」を大切に

総務課として社員が働きやすい環境整備の仕事をしています。請求書の処理から社内イベントの企画、広報やホームページの更新まで内容はさまざまですが、前職のシステムエンジニアで培ったスキルを活かして頑張っています。電話を取る機会も多く、特に気をつけているのが「伝える」ではなく、「伝わったかどうか」ということ。顧客とのコミュニケーションが大切な業界なので、自分が率先して気配りをしていきたいですね。



大手空調機メーカーから特工作として認定を受けるなど、業界内での信頼は厚い。少人数ならではの結束力を活かして、顧客満足度の高い仕事に努める。

社員の力を掛け算でパワーアップし

人と産業を支える空調管理への期待に応える



のがやま はるき  
野ヶ山 春輝

業務部 業務課  
[2020年入社]

大学卒業後、スポーツジムのトレーナーとして働くもののコロナ禍でやむを得ず離職。空調業界の将来性を感じ、2020年に三勇テクノス入社。持ち前の体力と元気で顧客との良好なコミュニケーションを図る。小学校からサッカーに打ち込み、休日には愛知県の祖父江砂丘でビーチサッカーに汗を流す。

学生のみなさんへのメッセージ

大企業志望の人も多いとは思いますが、中小企業ならではの良さがあるものです。少人数なので頑張っている姿がすぐ目に留まり、評価されれば仕事をどんどん任せてもらえます。同時に、全員が結束して仕事をやり回していく楽しさや達成感も味わうことができるでしょう。

当社では一日一日の業務内容に変化があり、刺激のある時間を過ごすことができます。毎日が同じ繰り返しでは成長できないと考えている人にはピッタリだと思います。規模だけにとらわれず、自分がこの会社でどれだけ輝けるか、そんな視点も仕事選びでは大切ですね。

企業ガイドは  
P384へ

株式会社三勇テクノス 【優良企業ガイド 2024】TSR 企業コード:470163771

- 所在地 / 〒501-6102 岐阜県岐阜市柳津町東塚 3丁目63番地
- 設立 / 平成5年4月1日
- 創業 / 平成2年4月1日
- T E L / 058-218-3441
- 従業員数 / 18名(男性13名・女性5名)
- FAX / 058-218-3443
- 平均年齢37.1歳
- U R L / https://www.sanyutec.com/
- 売上高 / 8億円(令和4年3月)

志望動機とこの会社に決めた理由

何よりも需要があるということ。当社は個人・法人双方の空調管理業務を主体に事業を展開していますが、地球温暖化が叫ばれる中、エアコンは北海道のような地域でも生活の必需品となっています。冷暖房の対象はもちろん人ですが、今後はAIの浸透や産業技術の進展により、例えばロボットそのものを冷やすことがこれまで以上に求められてくるでしょう。空調管理の多様化が進むほど、当社に寄せられる期待も大きくなっているのです。

仕事内容について

私は業務部として空調機の点検と修理をメインに仕事をしています。大きく家庭用と業務用に分けられるほか、機種もさまざま。マニュアルや資料はあるものの、上司の指導を受けながら現場で実機と向き合い、一つずつ学んでいかなければなりません。独り立ちできるまで「3年ぐらい」とはわれていますが、自分ではやる気次第だと考えています。

仕事は現場だけで終わるのではなく、見積書や報告書の作成など多岐にわたります。案件が立て込んでくると頭の整理が追い付かなくなるときもありますが、ここが踏ん張りどころと一つずつ乗り越えてきました。入社して9か月ほど経ったころ、初めて自分でエアコンの異常原因を特定。お客様に説明して作業を行い、正常に稼働したときは自分の成長が感じられて本当にうれしかったですね。

仕事でやりがいを感じる時

暖房が機能しなくなるのはもちろん大変ですが、やはり夏場の冷房の不具合が人間の体に一番こたえると思います。お客様のところへ素早く出向き、適切な対応で冷風が復活したときはやりがいを感じますし、お客様からの「助かった!ありがとう!」の感謝の言葉は何物にも代え難い喜びになります。

特に食品などを扱う工場だと、冷房の異常は製造ライン全体をダメにしてしまう危険性をはらんでいます。そのため日常の保守点検になるわけですが、異常を早期発見して故障を未然に防いだときもやりがいを感じる瞬間ですね。

会社の雰囲気はどうか

社員同士の距離感が近い会社だと思います。いざという時、上下の分け隔てなくがっちり手を取り合って頑張れる良さにつながっています。個々の力が足し算となっても会社の総力になりますが、当社は掛け算で倍々になり、予想以上の総力が発揮できているような雰囲気を感じますね。

また、常に新たなことに取り組み、停滞していないところも魅力です。例えばSDGsやSBT、カーボンニュートラルといった時代のキーワードをとらえ、当社が今できることは何か。その答えは省エネということになります。電気代増の原因となる汚れのチェックや省エネ機器の提案といったことが今後ますます重要に。お客様の事情に寄り添った対応ができるよう、社員全員で意見を交わし合っています。